

審査意見への対応を記載した書類（6月）

（目次） 薬学研究科 臨床薬学専攻（D）

1. 学位に付記する専攻分野の英語表記を日本語に訳すと通常であれば「臨床薬学」と思われるため、当該英語名称とする理由を具体的に説明すること。（要望意見）・・・・・・・・ 1

(要望意見) 薬学研究科 臨床薬学専攻 (D)

1. 学位に付記する専攻分野の英語表記を日本語に訳すと通常であれば「臨床薬学」と思われるため、当該英語名称とする理由を具体的に説明すること。

(対応)

学位に付与する専攻分野の英語名称を「Doctor of Philosophy in Pharmacy」に変更することとした。

(説明)

平成29年2月20日付、文科省高等教育局長通知(28文科高第1010号)の別添3により、6年制課程を基礎とする博士課程の修了者に付与する日本語の学位名称は「博士(薬学)」としていることから、英語名称についても、国際的な通用性に留意して「Doctor of Philosophy in Pharmacy」に変更することとする。

(新旧対照表) 設置の趣旨等を記載した書類(8~9ページ)

新	旧
<p>2 研究科、専攻等の名称及び学位の名称</p> <p>設置する薬学研究科臨床薬学専攻では、6年制の北海道科学大学薬学部薬学科を基礎とし、薬剤師としての知識を基礎に、実務に直結する研究課題を自らが発見・解決する高度な専門職業人として、科学的思考・研究マインド・研究能力を身に付け、地域医療の担い手として先進的な医療薬学・臨床薬学の研究に取り組むことができる人材の育成を目的とする。設置する薬学研究科臨床薬学専攻における養成する人材や専攻構成などを反映する最も相応しい名称として、研究科の名称を「薬学研究科」、専攻の名称を「臨床薬学専攻」、学位の名称を「博士(薬学)」とし、英訳名称については、国際的な通用性に留意して、研究科の英訳名称を「Graduate School of Pharmaceutical Sciences」、専攻の英訳名称を「Division of Clinical Pharmacy」、学位の英訳名称を「Doctor of Philosophy in <u>Pharmacy</u>」とすることとした。</p> <p>研究科の名称：薬学研究科「Graduate School of Pharmaceutical Sciences」</p> <p>専攻の名称：臨床薬学専攻「Division of Clinical Pharmacy」</p> <p>学位の名称：博士(薬学)「Doctor of Philosophy in <u>Pharmacy</u>」</p>	<p>2 研究科、専攻等の名称及び学位の名称</p> <p>設置する薬学研究科臨床薬学専攻では、6年制の北海道科学大学薬学部薬学科を基礎とし、薬剤師としての知識を基礎に、実務に直結する研究課題を自らが発見・解決する高度な専門職業人として、科学的思考・研究マインド・研究能力を身に付け、地域医療の担い手として先進的な医療薬学・臨床薬学の研究に取り組むことができる人材の育成を目的とする。設置する薬学研究科臨床薬学専攻における養成する人材や専攻構成などを反映する最も相応しい名称として、研究科の名称を「薬学研究科」、専攻の名称を「臨床薬学専攻」、学位の名称を「博士(薬学)」とし、英訳名称については、国際的な通用性に留意して、研究科の英訳名称を「Graduate School of Pharmaceutical Sciences」、専攻の英訳名称を「Division of Clinical Pharmacy」、学位の英訳名称を「Doctor of Philosophy in <u>Clinical Pharmacy</u>」とすることとした。</p> <p>研究科の名称：薬学研究科「Graduate School of Pharmaceutical Sciences」</p> <p>専攻の名称：臨床薬学専攻「Division of Clinical Pharmacy」</p> <p>学位の名称：博士(薬学)「Doctor of Philosophy in <u>Clinical Pharmacy</u>」</p>